

(別紙 12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

実習企業・機関	児童養護施設 七窪思恩園
実習期間	令和2年2月3日 ~ 令和2年2月9日
学生氏名	C1190481 奥山 舞
実習プログラム	<ul style="list-style-type: none">・ 学習支援、生活支援・ 環境整備・ 夕食作り・ 保育・ 講話
学び・気づき (300字程度)	児童養護施設には、親がいなかったり、虐待をうけたり経済的に困難のため育てられないという様々な理由がある家庭環境の子どもたちが集団で生活するしせつであった。七窪思恩園では、「ユニット」とよばれる小規模に分かれることでより家庭に近い形になるようにしていた。3歳から18歳までの子どもたちが入所しており、ユニットは男女別で年齢にも差があった。
今後に向けた 抱負 (200字程度)	専門的な知識がまだまだ身につけていないので、これから福祉の勉強を頑張りたい。児童養護施設は、施設だけで動いているのではなく、地域や児童相談所、学校などとも連携をとっていることを知り、児童相談所のしくみやどのように相談を受けて支援をしているのか知りたいと思った。具体的なケースもまだみたこと

	<p>がないので想像はわからないが、気になったのでインターンシップなどで行けるきっかけがあったら行ってみたい。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>児童養護施設のしくみを学ぶことが出来る。七窪思恩園では、子ども達も実習慣れをしていて職員の方々もやさしくとてもよい環境だった。自分が知りたかったことを質問でき、積極的に答えていただいたので実習だけでなくいろんな知識もつくと思う。</p> <p>職員の方々には、施設で子ども達の親のような存在であり洗濯や掃除をしたり、ご飯をつくることもあり主婦のような一面も感じました。七窪思恩園に住む子どもたちは、学校の友だちの家に遊びに行ったり、逆に遊びに連れて来たりすることもあるときき、意外と自由な面もありました。地域との連携もあり、体育館は地域の人でも使えるようだったので、施設だけでなく地域とともに子ども達を育てているような感じがして、とても温かく感じました。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	

(別紙12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	児童養護施設七窪思恩園
実習期間	令和 2年 3月 7日 ~ 令和 2年 3月 13日
学生氏名	平田 航大
実習プログラム	実習プログラムは子供たちと遊ぶ、勉強を教えるなど子供たちの面倒を見ること。そして家事全般の二つのことを行った。子供たちとはトランプなどのカードゲームや、人生ゲーム、積み木、体育館でのサッカーで遊んだ。家事は児童の昼ご飯と夜ご飯の料理や洗濯、皿洗いを行った。
学び・気づき (300字程度)	私はインターンシップ前では児童養護施設に入所している児童は家庭での出来事で傷を負い、変わっている児童が多いと思っていたが児童と触れ合ってみると普通の家庭の児童とはあまり変わりがないことに驚いた。職員の方は料理や洗濯など家事を行っているため職員さんが日頃子供たちの親代わりになっていることに気づいた。児童のほとんどが「このおもちゃお母さんに買ってもらった」や「この前ディズニーランドにお父さんたちと行った」などうれしそうに自ら話していたことだ。私はその様子を見て、入所しているほとんどの児童は家族のことが好きなのだと言ってきた。ほかにも、施設内の電話で家族と話している児童が「次いつ会えるの？」と話している光景を見て親と子を隔離することの残酷さを実感でき、福祉の現場にいると気づかされた体験だった。
今後に向けた抱負 (200字程度)	私は子供たちと関わるうえでいくつかの課題が残った。一つは子供同士のけんかをうまく仲裁することができなくなったことだ。保育士の方に「小さいけんかだったら逆に口出ししない方がいいよ」とアドバイスをいただいた。また障害の持っている児童との距離が近すぎて何度か注意されてしまうこともあった。このような子供との関わり方の課題を解決するため、ボランティアに積極的に参加し多くの子供たちと関わりたい。そして今回は家庭においての子供の気持ちを理解できるようになったため、これからは親の子育ての心理などを勉強し家庭支援について理解を深めたいと考えた。
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	インターンシップを通して気づいた一番の魅力は子供の幸せを自分の手で実現できていることだと考える。入所している子供は一般的な家庭とは違い生活しにくい状況に陥っている。そのような子供を児童養護施設を通して支援し、成長を見守れるのはこの職種にしかできないことだからだ。また児童養護施設の入所対象年齢は1才から18歳と人格形成にとっても大切な時期で、家庭に戻ることや児童の自立を支えることはとても大変なことだ。だからこそ子供が家庭に戻ることができたり、大人になる姿を見れることはとてもやりがいを感じれることも魅力だと私は気づいた。

写真 (1~3点)